

平成 30 年度 長野市消防委員会

- 日 時 平成 30 年 7 月 13 日（金） 午後 2 時 00 分から午後 3 時 40 分
■場 所 長野市消防局 3 階会議室

1 開 会 (2 : 00)

○出席委員 11 名、欠席委員 4 名

2 会長あいさつ (2 : 01)

○矢島会長

3 あいさつ (2 : 03)

○長野市消防局 根岸局長

○長野市消防団 高木団長

4 自己紹介 (2 : 15)

○消防局 13 名、消防団 3 名、消防委員 10 名（消防局長、消防団長、会長を除く）

5 議 事

(1) 平成 30 年度 消防局運営方針について (2 : 20)

○資料に基づき、根岸局長が説明

《A 委員》

消防団の機能向上について、機動力のある消防団とするために機構改革の検討を行うとのことですが、具体的にどこまで進んでいるのか教えてください。

《鎌田消防局次長兼警防課長》

機構改革につきましては、現在検討しているところです。定数は 3,430 人おりますが、定数を変えずに団員の処遇改善を図るといったところも、現在検討しているところでございます。

《B 委員》

先程、今後、救急搬送人数が増えるという話でした。人口が減る中で高齢化とか色んな要素で増えるということだと思いますけれども、全国的に搬送に該当しないような人がいるという話を聞くのですが、現実的には、どのような様子なのかお伺いしたい。

《鎌田消防局次長兼警防課長》

現実的には、長野市の場合には、1 日以上入院をされる中等症患者の割合が平均より多く、軽症の方のパーセンテージが少ないというのが現状でございます。

そういった面では、軽症の方の 119 番通報が長野市の場合には少ないということで、PR 効果等もあるのではないかと考えられます。

(2) 消防行政の概要について (2 : 40)

ア 総務関係

○資料に基づき、佐伯総務課長が説明

イ 予防関係

○資料に基づき、北川原予防課長が説明

ウ 警防関係

○資料に基づき、鎌田消防局次長兼警防課長が説明

エ 通信指令関係

○資料に基づき、武田消防局主幹兼通信指令課長補佐が説明

オ 消防団関係

○資料に基づき、高木消防団長が説明

《A委員》

分からないので聞きたいのですが、106 ページの方面副隊長というのは、組織の中に実在するのですね。

《高木消防団長》

はい、します。

《A委員》

ところが、110 ページの階級のところに方面副隊長という階級はない。これは、どこに所属していて、また、活動費というのが必要な訳ですけれども、どこから出ているのですか。

《高木消防団長》

方面副隊長は、今まで分団長兼務でやってきましたが、仕事量が多いということで分けてほしいという要望があり、試行中です。現在は、消防研究会の中から支給されています。

《A委員》

今は団員？

《高木消防団長》

今は、団員という形の中で、ご理解いただきながら活動していただいております。

《A委員》

早急に是正しないとまずいですよね。

《高木消防団長》

いずれ皆さん方にお願ひしながら、立ち位置をきちんとしていきたいと思っております。

《C委員》

救急ワークステーションについて、どのような効果があるのか、実例があれば教えてほしい。また、今後はどうしていくのか、他の基幹病院もあるのか、その見通しは。

《根岸消防局長》

日赤については、まだ始めたばかりで効果と言われても中々難しいのですが、日赤は、ちょうど長野市の中心にありますので、結構、救急の呼ばれる率が高いです。川の南側から安茂里まで。先ほど指令課の方で話したとおり、GPSで一番近い救急車を引っ張ることになっておりますので、住民にとっては、早く救急車が到着するという利点があります。

市民病院については、柳原分署が近いので、あまり変わりはありません。

また、救急救命士については、医師から直接指導を受けながら研修をやっておりまので、資質の向上のほか、能力も上がってきているのではないかと思います。

また、効果については、これから色々な観点から考えていきたいと思ひます。

今は、週3回、昼間の時間しか行っておりませんが、将来的には、24時間365日駐在させていただくような形が、一番効果が上がるのではないかと考えております。

そちらも、これから検討していきたいと思っております。

《C委員》

他の病院はどうなのですか。篠ノ井病院とか松代病院とかは。

《根岸消防局長》

篠ノ井病院も、今の2箇所を整理しながら検討を進め、ただ、松代病院については、救急の専門が無いため、市内では、今のところ3病院じゃないかと考えております。

《C委員》

職員さんの負担と局の負担もありますよね。

《根岸消防局長》

そうですね。職員の負担というのも「負」の方でありますので、いい方法があれば、そちらの方へと考えております。

《C委員》

是非、検討していただいて、いい方向へお願いします。

《根岸消防局長》

分かりました。

《C委員》

もう1点、今、全国各地で自然災害が相次いでいますが、先日の雨の時に、中条地区に避難指示まで出たという報道もありました。知りたいのは、出した結果、何人の方がそれに反応して、どういう行動をしたのかというところで、これが出てこないの、実際には動かなかったのではないかといいところはありますが、今回の災害がいい例で、従わないから犠牲者が出たのかなあと。最終的には、自分の判断が一番大事になる訳ですが、大変難しい問題が含まれているのではないかなと思ひます。その辺の兼ね合いの中で、どうだったのですか。実際に命令に従って動いた人はいたのですか。

《鎌田消防局次長兼警防課長》

結果的には、9人の方が中条会館に避難された。実際に避難指示が出たというのを知ったのは、地区の防災無線だけでした。中条もエリアが広く、消防車で広報に回るにも時間が掛かるため、直ぐに同報無線をとということで、防災無線を流しました。消防団には、地区の皆さん、近くの人たちに回っていただいた。

《根岸消防局長》

広範囲の中で夜間ということもあり、また、高齢化率も高いので、避難場所へ行くまでの移動手段や危険を冒してまで避難した。果たしてそれがいいのかという問題がある。

各地区に公民館はあるのですが、土砂防の関係で指定されている所が結構多く、公民館自体が危ない。中条に限らず中山間地域にそういう場所が結構ありますので、防災側になりますけれど、消防としても色んな兼ね合いがありますので、今後、考えていかなければならない課題だと考えております。

《C委員》

何かあれば、今のマスコミは必ず行政を叩いてくるから、言い訳的には分かるけど通用はしないよね。それから、防災無線は、私も一番近いところで150メートルくらいのところにあるが、まったく聞こえない。

《根岸消防局長》

それは、やはり苦情としてあります。風向きとかの問題もありますし、もうちょっと細目に入れればいいのかと思うと、逆にうるさいという苦情もありますね。なかなか難しいことで。

《C委員》

行政の役割は何だというのは、消防としても考えていかなければいけないことかなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

《矢島会長》

難しいところですね。

《A委員》

要望なのですが、消防学校の今後のあり方について、我々も長野市の一市民として移転等を考える時に、県都長野市として消防局、消防団で連携を取って、長野にそのままいるようにお願いしたいと思います。

《根岸消防局長》

消防学校自体は長野県の持ちものになりますので、そちらは何とも。ただ、要望はさせていただきますと思います。

(3) 平成30年度の主な行事について (3:35)

○資料に基づき、事務担当者から説明

(4) その他 (3:38)

《B委員》

長野市の消防局、消防団の皆さんが、市民のために大変一生懸命やっているということが良く分かりましたので、是非とも様々な課題はありますけれども、今後とも長野市民の安全のためにご尽力いただきたいということで、御期待を申し上げたいと思います。

《C委員》

消防団の方々に手厚くしてほしいというのが私の希望です。全国あちこち回らしていただく中で、消防団活動の活発なところも見られるのですが、やはり、装備などについて、きちんと手当しているなという印象がございます。

予算の厳しい折ですけれども、長野県全体で見ると、もうちょっと消防団の方々に手厚くしてやってもいいんじゃないかなあという印象を持っておりますので、局長さん、団長さんに一生懸命頑張ってください、少しでも団員の待遇改善になるようなものを取り込んでいただけたらありがたい。大変だと思いますけれども、頑張ってくださいと思います。

8 閉会 (3:40)